井上通泰生誕一六〇年記念
福崎町立柳田國男・松岡家記念館 秋季企画展

鼎と通泰展

令和8年
10月3日(土)～12月6日(日)

[開館時間] 9:00～16:30(入館は16:00まで)
[開催場所] 福崎町立柳田國男・松岡家記念館
[休 館 日] 月曜日(祝日の場合は開館)・祝日の翌日
[入 館 料] 無料

○主催/福崎町教育委員会
○協力/神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

アクセス
ＪＲ：播但線で福崎駅下車、タクシーで約10分
お車：播但連絡道路・中国自動車道で福崎ICから約5分、または国道312号線を利用

福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
Kunio Yanagita and the Matsuoka Family Memorial Museum established by Fukusaki Town
兵庫県神崎郡福崎町西田原 1038-12 TEL/FAX:0790-22-1000
https://www.town.fukusaki.hyogo.jp/html/kinenkan/

井上通泰生誕一六〇年記念

福崎町立柳田國男・松岡家記念館 秋季企画展

鼎と通泰展

2026.
10/3 sat
～12/6 sun

「二兄の心遣い」――日本民俗学の父・柳田國男が、自叙伝『故郷七十年』のなかで記した言葉です。

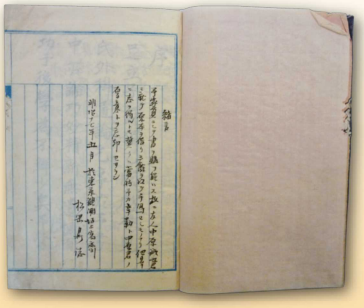
柳田國男は、松岡家八人兄弟の六男として生を受け、早逝した三人の兄弟を除いた松岡家五兄弟は、それぞれの道で大きな功績を残したことで知られています。五兄弟の長兄・松岡鼎と三兄・井上通泰は、生涯を通じて弟たちの学究生活を支え、柳田國男をはじめ、海軍大佐で言語学者の松岡静雄、日本画家として大成した松岡輝夫（映丘）の事績にも、大きな影響を与えています。

では、鼎・通泰二人の関係は、どのようなものだったのでしょうか？

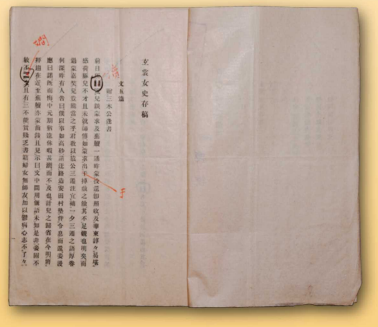
本展では、松岡鼎と井上通泰、二人の事績について取り上げ、残されたエピソードから、二人の絆を紐解きます。

平成27年・28年開催の記念展以降に当館へ寄贈・寄託された新出資料も交えながら、五兄弟の「二兄」の知られざる功績についてご紹介します。

①



②



③

①『彪氏総論』
手書き模写ノート
②『松岡小鶴女史遺稿』草稿
（個人蔵）
③ 集合写真（松岡鼎・井上通泰）
（複写・個人蔵）

-講演会のご案内-

［講　師］石井　正己
（東京学芸大学名誉教授
柳田國男・松岡家記念館顧問）

［演　題］『柳田國男大事典』を編集して

［日　時］令和８年11月15日（日）
13:30～15:00

［会　場］神崎郡歴史民俗資料館2階

［受講料］無料

［予　約］不要

-近隣施設の催し-

◆神崎郡歴史民俗資料館

「令和8年度特別展
昭和 100 年記念　お店からみる福崎」

［会　期］10月31日(土)から 12 月20日(日)まで

◆大庄屋三木家住宅

「開館 10 年　三木家住宅」

［会　期］10月31日(土)から 11 月 29 日(日)まで

福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
Kunio Yanagita and the Matsuoka Family Memorial Museum established by Fukusaki Town

兵庫県神崎郡福崎町西田原 1038-12
TEL/FAX:0790-22-1000
https://www.town.fukusaki.hyogo.jp/html/kinenkan/